

など、水産基盤の整備促進に取り組みます。

新漁業法の施行により、本市で水揚げされている魚種が、漁獲可能量制度の対象に含まれたことから、今後の状況を注視しながら、関係団体などと連携を図ります。

水産加工業については、6月1日からHACCPに沿った衛生管理が完全義務化されることから、本市の「水産加工施設整備事業」による加工設備の整備への支援を行い、経営の安定化を図ります。

◆酪農業
近年、農家の経営規模拡大による大規模草地牧場の預託希望が増加していることから、大規模草地牧場の牛舎増築に関する調査など、令和5年度の整備に向けた取り組みを進めます。

牛舎の新築や搾乳ロボットの付帯設備の整備など、国の事業を利用した支援を推進することで、安定的な経営や労働力の効率化を図り、人材不足の解消につなげます。

◆林業
所有者や境界がわからないう森林の増加が課題となっており、現況調査により、

所有者の特定や森林整備箇所を把握し、市有林を含めた本市全体の森林の適切な管理・保全を推進します。

◆中小企業振興
稚内市中小企業振興基本条例に基づき、「スマート産業化」への支援により、作業の効率化や労働環境の充実を図ります。

人材確保のため、合同企業説明会に参加する際の費用などへの助成や、地域資源を活用した新商品開発、創業希望者への支援のほか、「稚内ブランド」により付加価値を創出し、地域経済の活性化や雇用の場の確保に努めます。

◆観光振興
地域の多様な関係者と協働で観光戦略の策定やプロモーションを行う法人「地域連携DMO」を設立し、地域産業の一体的な取り組みにより、観光産業の持続的発展を図ります。また、観光につながる「交流人口」の拡大を目指します。

◆港湾機能
令和2年度から本格的に進められている送電網整備と併行して、「大規模風力発電」の整備が始まります。稚内港は、送電網事業に関



送電網事業に関する資材の荷役

する資機材の荷役のほか、風力発電資機材の搬入の本格化に合わせて、企業版ふるさと納税を活用し、荷さばき地の地盤改良を実施するなど、港湾機能の強化を図ります。

また、令和3年度は、民間石油開発会社が、石油・ガスの試掘作業を予定しており、稚内港を利用した資材輸送などが予定されています。クルーズ船の寄港や、サハリン貨物チャーター便の運航なども併せて、稚内港の利用が地域経済の活性化に大きな役割を果たしており、今後も、国内外からの利用促進に努めます。

◆地域医療の充実
市立稚内病院の常勤医のさらなる確保はもとより、医療器械器具の更新や遠隔

④互いに支え、いきいきと生活できる暮らしづくり

医療の導入の検討など医療の充実に努めるほか、引き続き開業医誘致を進めます。

◆感染予防対策
喫緊の課題である新型コロナウィルスのワクチン接種について、万全の体制を整えるなど、感染予防対策を最優先に取り組みます。

◆地域共生社会の実現
誰もが活躍の場を持ち、ともに支え合うことを目指し、ひきこもりについて理解を深める機会を設けたり、支援の充実を図ります。障がいに対する心と情報のバリアフリー化を図るとともに、医療ケアを必要とする障がい児等への支援のため、関係機関との連携体制を強化します。

◆地域包括ケアシステムの推進
稚内市介護保険事業計画の改定により、新たな事業がスタートしますが、近年の高齢者の増加に伴い介護給付が増え、介護保険料の基準額を引き上げざるを得ませんでした。

引き続き介護サービスの充実に努め、地域包括ケアシステムのさらなる推進を目指します。

◆脱炭素社会の実現
令和3年4月から始まる新たな「稚内市地球温暖化対策実行計画」に基づき、再生可能エネルギーの導入拡大などにより、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指します。

再生可能エネルギー地産地消モデル構築事業については、水道事業が所有する風車の電力を活用し、市庁舎などへ電気を供給する電力の自己託送の実現や、地域エネルギー会社の設立を目指します。

◆循環型社会の実現
ごみの発生抑制に向け、より一層取り組みを進めるとともに、老朽化の進むリサイクルセンターについては、令和5年の供用開始に向けて、用地造成や建築工事に着手します。

◆安全・安心なまち
新型コロナウイルス感染症拡大に便乗した不正な勧誘などが懸念されますが、啓発、情報発信を重ね、消費者の安全・安心の確保に努めます。
3月20日に本市で初めて「交通死亡事故ゼロ700日」を達成しましたが、引

き続き、交通安全への取り組みを推進するとともに、関係団体との連携のもと、交通安全や防犯意識の向上に努めます。

⑤まちを愛し、世界に誇れるふるさとづくり

◆国外の交流
令和2年から2年間は、日ロ両国において「日露地域・姉妹都市交流年」と位置付けています。令和3年度は、コルサコフ市との友好都市提携30周年、ユジノサハリンスク市とは20周年を迎える節目の年でもあり、コロナの沈静状況次第で、これまで以上に友好関係が深まるよう、記念事業に取り組みます。

◆スポーツの振興
昨年グランドオープンした「みどりスポーツパーク」は、多くの方にご利用いただいております。
引き続き関係者と国内国際大会の誘致を進め、子ども達が夢と誇りを持つて次々に続くことを期待するとともに、幅広い世代が様々なスポーツを親しむことができるよう「総合型地域スポーツクラブ」の設立を支援します。

◆移住定住の促進
リモートによる「テレワーク」や、旅行先で仕事をしながら余暇も楽しむ「ワーケーション」について、本市での可能性を検討するとともに、首都圏からのUターンによる新規就業への支援などに努めます。

むすび

新型コロナウイルス感染症については、この後も感染拡大防止のための事業を最優先かつ重点的に進めながら、機を見て経済の維持回復にも機動的、積極的に取り組む覚悟です。
一方では、健全な財政運営も、私に課せられた大きな課題であり、持続可能な財政運営に向けても取り組みます。
令和3年度は、国際的や国内的にも、大きな課題が存在する中で、船出であり、私たちがこの荒波の中で安心して航海を続けるためには、職員はもとより市民の皆様と「ワンチーム」で行動することができると信じています。
市民の皆様、並びに市議会議員の皆様におかれましては、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。